

三下平巡查平祭料内詳左ノ如シ

公傷ニ依ル増加額(前同) 三四八圓

月俸(五十八月)「功勞加俸ヲ含ム」ノ六ヶ月分

三四八圓

通常ノ分(前同) 一三五円

月俸(五十八月)ノ一ヶ月分 五八円

及月俸(五十八月)ノ三分ノ二ノ二倍

七二圓

備考、同人在職年二年

一 本議府ニ提出ノ予定

二 守品港ノ修繕

一、軍需品ノ集積地

二、水上ニ於テ^{修繕}修繕隊ノ平時訓練所

三、資材貯蔵設備ノ存在

四、戦時非常設備ノ必要存在

三 過去ノ事例

一、日清戦争ノ際、本区域ニ戦艦あり

二、日露戦争ノ際、本区域ニ要塞あり要塞地

一適用アリ

他ニ想出

四、現存ノ陸軍官制
陸軍運輸部

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

秘

法律第

號

第一條 宇品港域法

第二條 宇品港域ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ第

三條 宇品港域第一區内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ

該當スル行為ヲ爲サントスル者ハ陸軍大臣ノ許

可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セスト規

定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 棧橋埠頭橋梁道路運河鐵道又ハ軌道ノ新設増

設又ハ改修

二 水面ノ埋立又ハ干拓

第四條 宇品港域第一區内ニ於テ左ノ各號ノ一二

水面包含セル宇品港
字句修正ノ事ト

修正ノ事ト

廣島市海田市町
一、新地
二、同地
三、同地
四、同地

内務省

該當スル行為ヲ為サントスル者ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セズト規定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 不燃質物ヲ材料トスル家屋工場倉庫其ノ他ノ

二 土石ノ採掘新築改築又ハ増築

三 爆發物又ハ容易ニ燃燒スベキ物件ノ運搬積卸

四 航空機ノ運航

五 船舶ノ航行又ハ繫泊

六 漁獵又ハ採藻

前項ノ不燃質物爆發物及容易ニ燃燒スベキ物件

ノ種類及數量ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 宇品港域第一区内ノ水陸ノ形状ヲ測量撮

影模寫模造若ハ錄取シ又ハ之ヲ複寫若ハ複製

シトスル者ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クベシ但

シ命令ヲ以テ許可ヲ要セズト規定シタルトキハ

第六條 陸軍運輸部長ハ宇品港域内ニ立入り軍事

施設ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

得ハ其ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

第七條 第三條乃至第五條ノ規定ハ戰時又ハ事變

ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコ

トヲ得ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ム

前項ノ不燃質物爆發物及容易ニ燃燒スベキ物件ノ種類及數量ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條

宇品港域第一区内ノ水陸ノ形状ヲ測量撮影模寫模造若ハ錄取シ又ハ之ヲ複寫若ハ複製

シトスル者ハ陸軍運輸部長ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ許可ヲ要セズト規定シタルトキハ

第六條 陸軍運輸部長ハ宇品港域内ニ立入り軍事施設ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

得ハ其ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

第七條 第三條乃至第五條ノ規定ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

第六條 前項ノ不燃質物爆發物及容易ニ燃燒スベキ物件ノ種類及數量ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條

陸軍運輸部長ハ宇品港域内ニ立入り軍事施設ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

得ハ其ノ者ニ對シ同港域外ニ退去ヲ命ズルコトヲ

第七條 第三條乃至第五條ノ規定ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

ハ事變ニ際シ必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第

二區内ノ地域ノ全部又ハ一部ニ之ヲ適用スルコトヲ得

第九條 陸軍運輸部長ハ戰時又ハ事變ニ際シ必要

アルトキハ字品港域内ニ在ル船舶ニ對シ錨地ノ

變更又ハ退去ヲ命ズルコトヲ得

第九條 陸軍大臣ハ第三條若ハ第四條ノ規定又ハ

第三條若ハ第四條ノ規定又ハ

第十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定

シタル事項ニ付陸軍大臣又ハ陸軍運輸部長ノ爲

シタル處分ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

第十二條 陸軍大臣ハ字品港域各區ノ區域及第七

條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要アルトキハ標

識ヲ設置スルコトヲ得

第十條 陸軍大臣ハ字品港域各區ノ區域及第七

條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要アルトキハ標

識ヲ設置スルコトヲ得

第十二條 陸軍大臣ハ字品港域各區ノ區域及第七

條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要アルトキハ標

識ヲ設置スルコトヲ得

第十三條 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者

ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科

料ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

航路標識トシテ
同ノ標識

第十條 陸軍大臣ハ字品港域各區ノ區域及第七

條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要アルトキハ標

識ヲ設置スルコトヲ得

第十二條 陸軍大臣ハ字品港域各區ノ區域及第七

條第二項ノ區域ヲ標示スル爲必要アルトキハ標

識ヲ設置スルコトヲ得

第十三條 第六條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハザル者

ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科

料ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科

料ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金若ハ科

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以

下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第三條ノ規定又ハ同條ノ許可ニ附シタル條件

ニ 違反シタル者

二 第四條第一項第四號ヲ除クノ規定又ハ同條同

項(第四號)ヲ除クノ許可ニ附シタル條件ニ違反

シタル者

第十五條 守品港域各區ノ區域ヲ標示スル標識ヲ

移轉シ又ハ損壞シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又

ハ科料ニ處ス

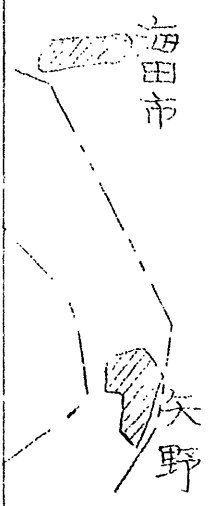
附則

第十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 本法施行ノ際既ニ工事を完了シタルモ

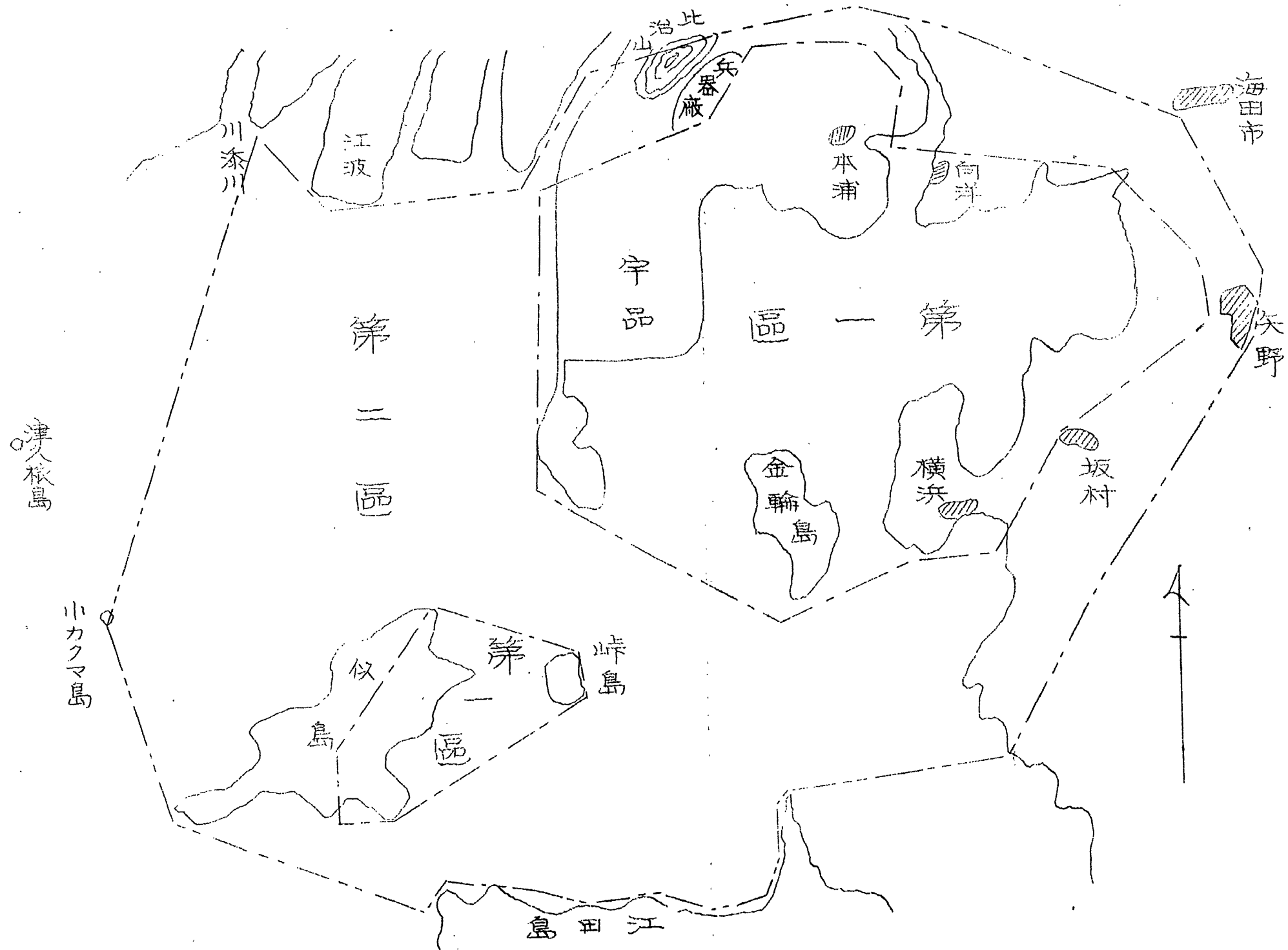
一 項第一號ノ規定ヲ適用セズ

守品港ハ陸軍唯一ノ軍事輸送基地ニシテ特ニ時局
ニ鑑ミ軍事上其ノ秘密ヲ保持シ旦國防上必要ナル
施設ノ實施ヲ容易ナラシムル爲メ守品港及其附近
ノ地域ハ實施上之ヲ要塞地トシ準シ取締ルノ要アリ是レ
本案ヲ提出スル所以ナリ



一、海田市の位置
 二、海田市の歴史
 三、海田市の産業
 四、海田市の交通
 五、海田市の文化
 六、海田市の教育
 七、海田市の医療
 八、海田市の福祉
 九、海田市の環境
 十、海田市の未来

宇品港域要圖



裏面白紙